

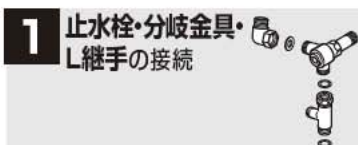
STEP8. 止水栓

【大便器部】と【汚物流し部】で施工方法が異なります。
商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

大便器部

汚物流し部

幼児用小便器部



▶ P.55

▶ P.57



▶ P.58

汚物流し部



① 止水栓の接続

▶ P.59

② フレキ管の接続

▶ P.59

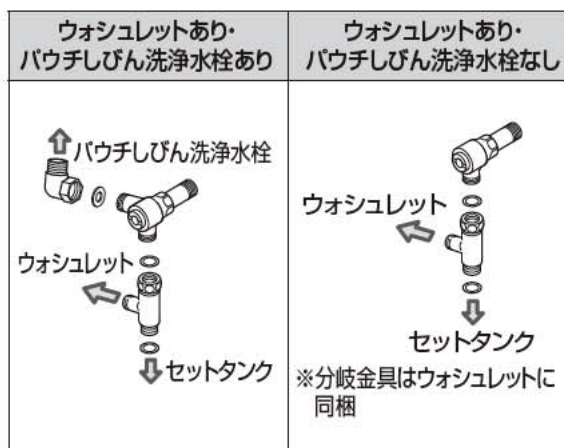
大便器部

1 止水栓・分岐金具・L継手の接続

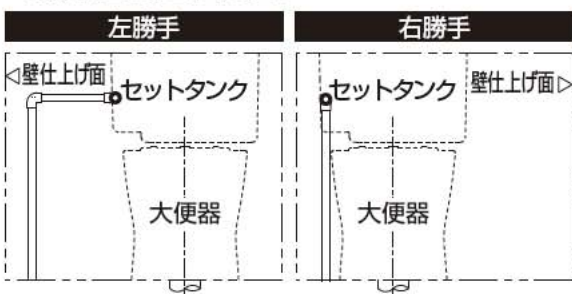
【車いす・オストメイト配慮セット、乳幼児連れ配慮セットの場合】

選択された仕様により取り付ける止水栓・継手が異なります。下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

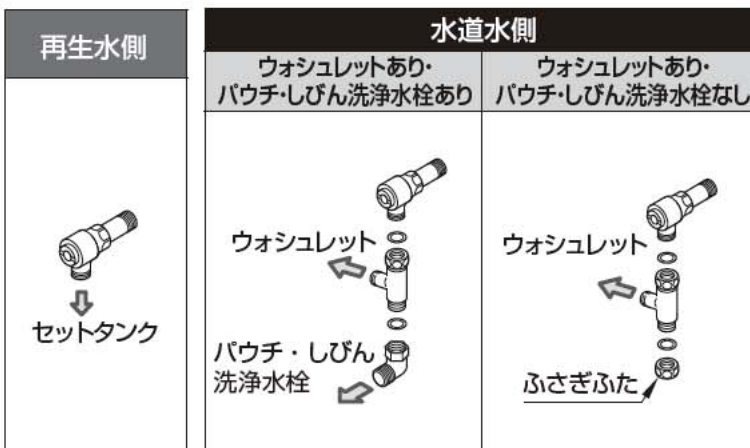
水道水仕様の場合



<給水立ち上げ位置>



再生水仕様の場合



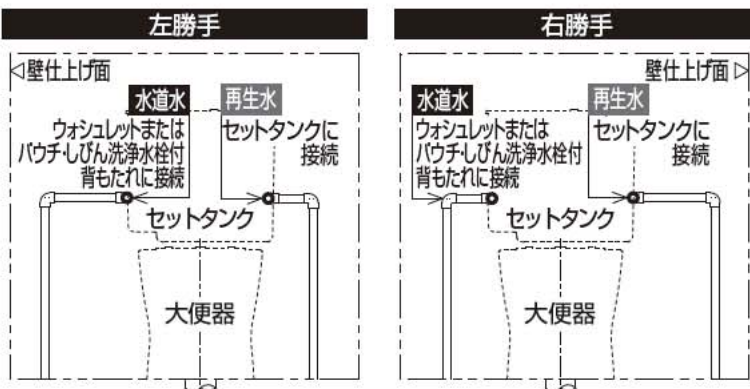
<止水栓位置>

！ 注意



必ず守る

再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えない
よう給水接続をする
故障や皮膚の炎症などをおこす原因となります。



大便器部

【車いす使用者優先配慮セットの場合】

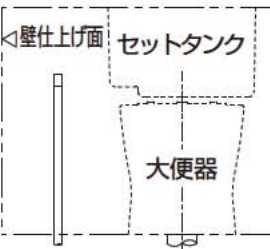
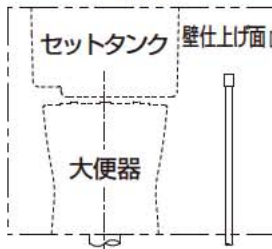
選択された仕様により取り付けの止水栓・継手が異なります。下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

※図は右勝手の場合です。左勝手の場合の接続は左右反転になります。

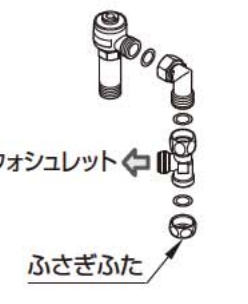
水道水仕様の場合

ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓あり	ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓なし
後壁  前板  セットタンク ウォシュレット パウチ・しびん 洗浄水栓	後壁  前板  セットタンク ウォシュレット ふさぎふた

<給水立ち上げ位置>

左勝手	右勝手
壁仕上げ面 セットタンク 大便器 	壁仕上げ面 セットタンク 大便器 

再生水仕様の場合

再生水側	水道水側	
	ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓あり	ウォシュレットあり・ パウチしびん洗浄水栓なし
後壁  前板  セットタンク	後壁  前板  ウォシュレット パウチ・しびん 洗浄水栓	後壁  前板  ウォシュレット ふさぎふた

<止水栓位置>

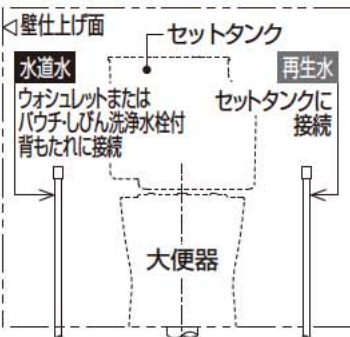
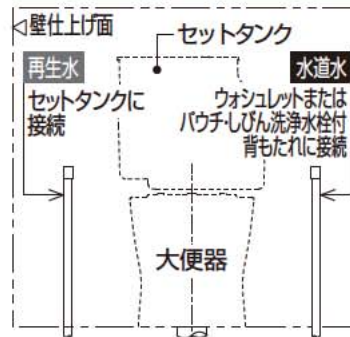
⚠ 注意



必ず守る

再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えない
よう給水接続をする

故障や皮膚の炎症などをおこす原因となります。

左勝手	右勝手
壁仕上げ面 水道水 ウォシュレットまたは パウチしびん洗浄水栓付 背もたれに接続 セットタンク 再生水 セットタンクに 接続 大便器 	壁仕上げ面 再生水 セットタンクに 接続 水道水 ウォシュレットまたは パウチしびん洗浄水栓付 背もたれに接続 セットタンク 大便器 

汚物流し部 ※大便器部の場合P.60「STEP9.幅木」に進んでください。

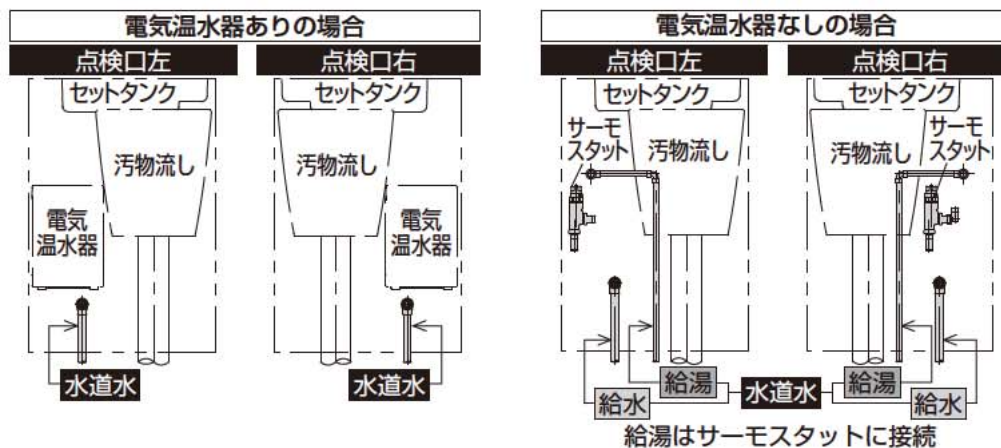
1 止水栓・分岐金具・L継手の接続

選択された仕様により取り付ける止水栓・継手が異なります。
下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

水道水仕様の場合

電気温水器あり・点検口左	電気温水器あり・点検口右	電気温水器なし・点検口左	電気温水器なし・点検口右
セットタンク ↓ 電気温水器	セットタンク ↓ 電気温水器	給湯 給湯 ↓ サーモスタット	給湯 給湯 ↓ サーモスタット ※フレームに付いています

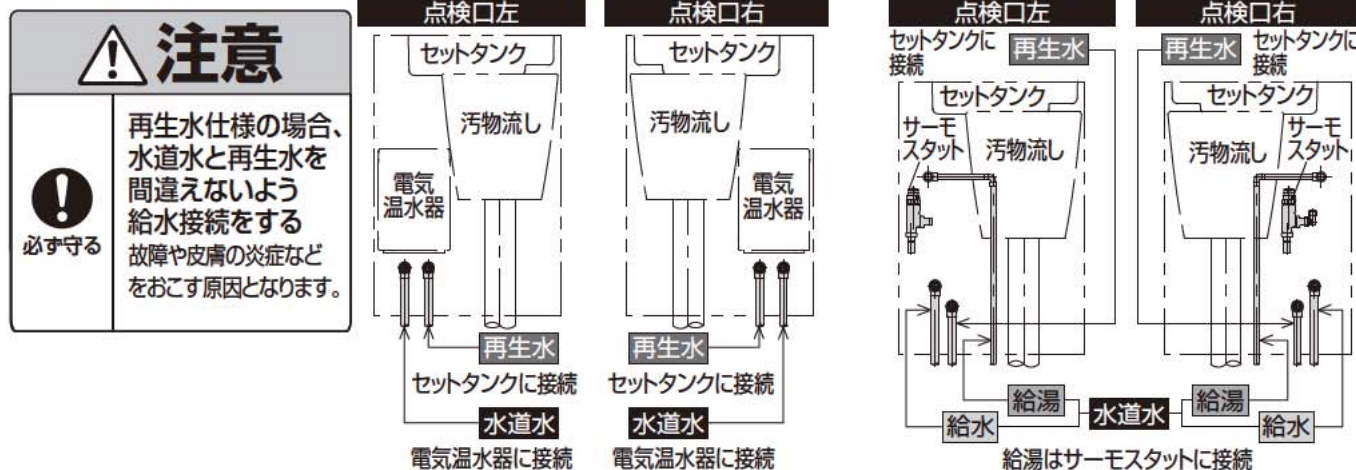
<給水立ち上げ位置>



再生水仕様の場合

再生水側	水道水側
再生水側	電気温水器あり
点検口右 点検口左	左右勝手とも下向き 電気温水器
再生水側	電気温水器なし・点検口左
	給湯 サーモスタット
再生水側	電気温水器なし・点検口右
	給湯 サーモスタット ※フレームに付いています

<止水栓位置>



注意



必ず守る

再生水仕様の場合、
水道水と再生水を
間違えないよう
給水接続をする
故障や皮膚の炎症など
をおこす原因となります。

汚物流し部

2 サーマスタット・止水栓の接続

下記表を参考に、各止水栓とサーモスタットをフレキホース・フレキ管で接続します。

サーモスタットの接続先	長さ
止水栓(給水管用)フレキホース	約600mm
止水栓(給湯管用)フレキ管	約500mm

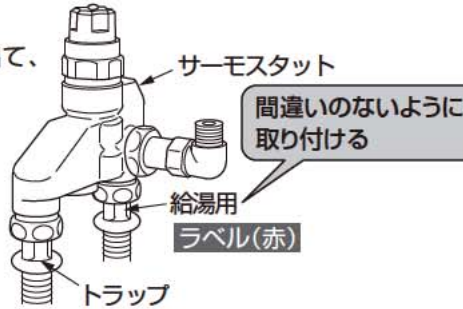
警告



禁止

湯水を逆に接続しない
水を出そうとした際に湯が出て、
やけどの原因となります。

【サーモスタットの取出口】
・奥(壁)側…給湯用
・手前側…給水管



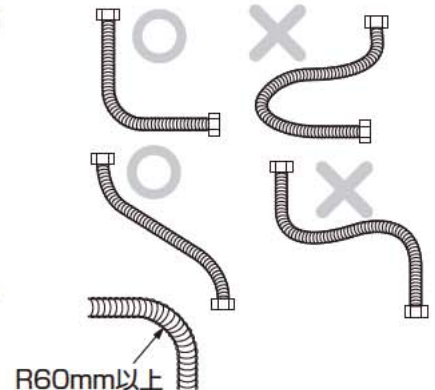
【フレキ管】

注意



必ず守る

- ・フレキ管の取り付けは必ず下記の項目にそれぞれ注意して行う
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
- ・フレキ管は、取り付けの前にあらかじめ所定の形に曲げる
フレキ管は小さい角度で曲げないでください。
また、袋ナット付け根部分を曲げないでください。
- ・1～2回程度の曲げで所定の形にする
曲げ作業をくり返すと破損するおそれがあります。
- ・必ず同梱のパッキンを使用する
- ・袋ナットは十分締め付け、取付後、水漏れがないことを確認する
- ・フレキ管は極端に折らず、R60mm以上を確保する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。



R60mm以上

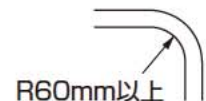
【フレキホース】

注意



必ず守る

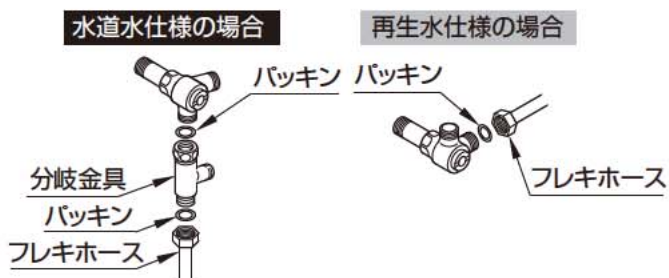
- ・フレキホースの取り付けは必ず下記の項目にそれぞれ注意して行う
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
- ・必ず同梱のパッキンを使用する
- ・袋ナットは十分締め付け、取付後、水漏れがないことを確認する
- ・フレキホースは極端に折らず、R60mm以上を確保する
- ・フレキ管とフレキホースは接触させない
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。



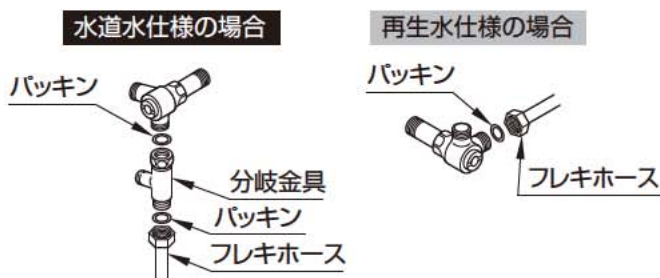
R60mm以上

止水栓(給水管用)は一方の口をサーモスタットと接続し、もう一方の口はシングルレバーと接続します。
下記を参照して、接続する口を間違えないよう取り付けてください。
シングルレバーの給水・給湯ホースの接続 ▶P.85「STEP17.汚物流し用セットタンク 8」参照

点検口左の場合



点検口右の場合



⚠ 注意



禁止

接続する給水口を逆に配管しない

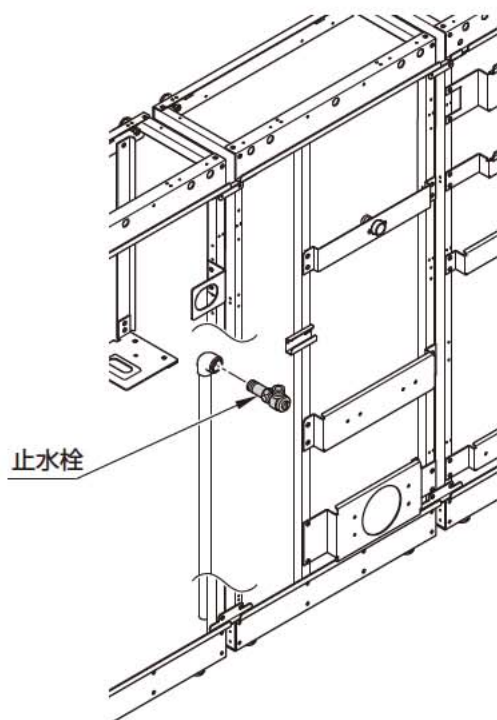
フレキホースに無理な力がかかってキンクの原因となり水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

幼児用小便器部

3 止水栓の接続

※イラストは点検口左の場合ですが、点検口右の場合も同様です。

① 止水栓の接続



② フレキ管の接続

